

# 第7次宇美町総合計画

基本構想・前期実践計画  
(素案)

令和4（2022）年11月  
宇美町

# 宇美町町民憲章

私たちは、先人が育んできた豊かな自然と歴史・文化を大切にし、まちの発展と町民一人ひとりの幸せを願い、活力と希望に満ちた町民憲章をここに定めます。

宇美川のせせらぎのように

澄んだ心を育てよう

三郡山の頂のように

大きな愛でつつみ込もう

宇美八幡の大楠のように

やさしさあふれる笑顔になろう

難所ヶ滝のツララのように

高くそびえる志を持とう

大野城跡の石垣のように

学びを重ね賢くなろう

# 目次

第1部 序論.....	1
第1章 計画策定の概要.....	2
1 「総合計画」とは.....	2
2 計画策定の目的.....	2
3 計画の構成と期間.....	3
第2章 計画策定の背景.....	4
宇美町を取り巻く社会情勢.....	4
宇美町の特長.....	6
宇美町の現状.....	8
第2部 基本構想.....	11
宇美町の将来像.....	12
基本目標.....	14
宇美町の目指す姿.....	16
第3部 前期実践計画.....	18
施策の体系.....	19
計画の見方.....	20
基本目標1.....	22
1-1 子育て支援の充実.....	24
1-2 学校教育の充実.....	26
1-3 生涯にわたる学びの推進.....	28
1-4 スポーツ・文化活動の推進.....	30
1-5 子どもの健全育成.....	32
基本目標2.....	34
2-1 地域で支えあう福祉環境の充実.....	36
2-2 いつまでも健康でいきいきと暮らせるまちづくり.....	38
基本目標3.....	40
3-1 災害に強いまちづくりの推進.....	42
3-2 防犯・交通安全対策の推進.....	44
基本目標4.....	46
4-1 安全で快適な道路環境の整備.....	48
4-2 地域公共交通の充実.....	50
4-3 環境にやさしいまちの実現.....	52
4-4 自然環境の保全と生活環境の向上.....	54
4-5 土地利用と公園の整備.....	56
4-6 上・下水道の整備.....	58
基本目標5.....	60
5-1 地域経済の活性化.....	62
5-2 農業の振興.....	64

基本目標 6 .....	66
6-1 まちの魅力向上 .....	68
6-2 共働のまちづくりの推進 .....	70
6-3 人権の尊重と男女共同参画の推進 .....	72
6-4 持続可能な行財政運営 .....	74
参考資料 .....	77
SDGs17 のゴールと施策の関連図 .....	78
施策に関連する個別計画一覧 .....	79
用語の説明 .....	81

# 第1部 序論

# 第1章 計画策定の概要

---

## 1 「総合計画」とは

「総合計画」とは、地方自治体が将来目指す姿を示すとともに、それを実現するためにどのような取組を行うかをまとめた計画です。

多くの地方自治体が、目指す将来像やまちづくりの方向性等を示した「基本構想」と、それに基づいて主な施策等を示した「基本計画」（本町では「実践計画」と呼んでいます。）で構成しています。

地方自治体では、計画的に仕事を進めるため、分野ごとにたくさんの計画を策定していますが、総合計画は、こうした計画のうち、一番上に位置する「最上位計画」であり、最も重要な計画です。

## 2 計画策定の目的

本町では、平成 26（2014）年度に「第6次宇美町総合計画」を策定し、『ともに創る 自然とにぎわいが融合したまち・宇美』という将来像の実現に向けた様々な取組を積極的に進めてきました。

しかし、この計画の策定後、およそ8年を経過した今日、少子高齢化の急速な進行や全国各地における大規模災害の発生、住民が抱える課題の多様化、地域の活性化等、取り組まなければならない課題が山積しています。厳しい社会情勢を乗り越え、すべての町民が幸せを実感できる持続可能なまちとして発展していくため、「第7次宇美町総合計画」を策定します。

また、この計画は、町政運営全般の最も基本的な計画として、本町に関わるすべての人と将来像を共有し、共に未来の宇美町をつくっていくための羅針盤として周知、活用していくものです。

### 3 計画の構成と期間

第7次宇美町総合計画は、「基本構想」、「実践計画」により構成されます。具体的な事業については、毎年度「事業計画」を策定し、総合計画の進行管理を行います。

#### 基本構想

本町の特性や町民ニーズ、社会動向、そして現状と課題を踏まえ、本町が目指す将来像と、その実現に向けた基本目標等を示したものです。

計画の期間は、令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間とします。

#### 実践計画

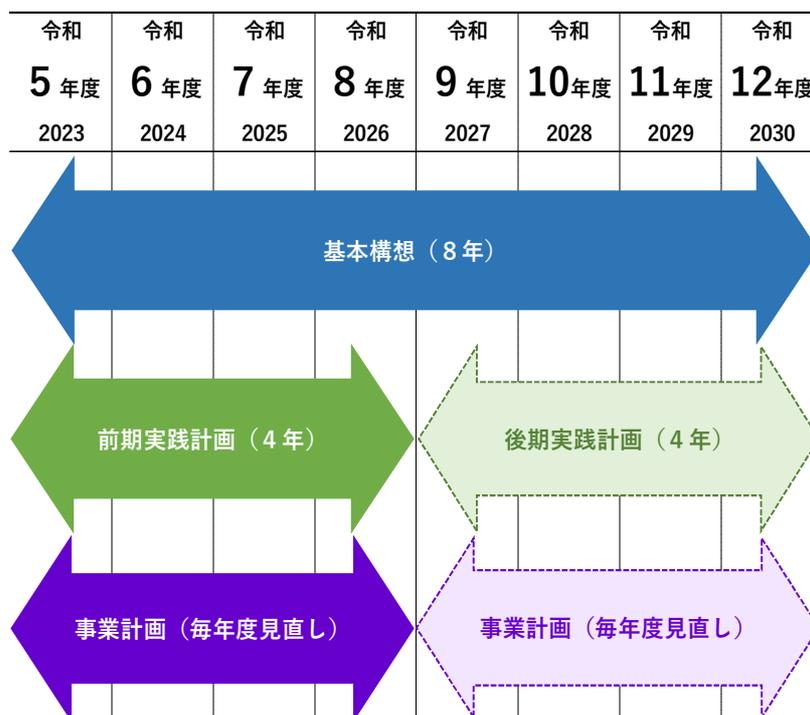
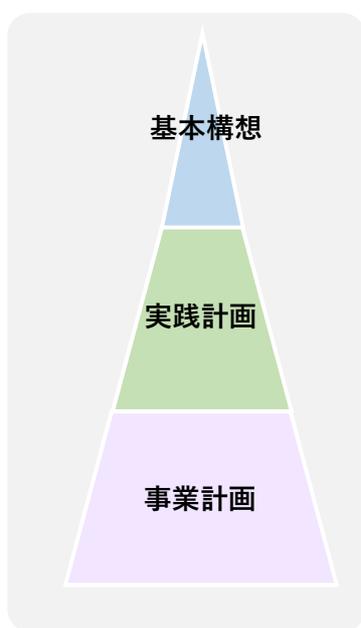
基本構想に基づき、各分野において取り組む主要な施策等を示したもので、社会動向の変化等に柔軟に対応できるよう、前期・後期にわけて策定します。

計画の期間は、前期実践計画が令和5（2023）年度から令和8（2026）年度までの4年間、後期実践計画が令和9（2027）年度から令和12（2030）年度までの4年間とします。

#### 事業計画

実践計画に基づき、具体的に実施する事業の内容や財源、実施年度等を示したもので、計画の期間は4年間とします。

なお、事業計画は、本計画書とは別に、毎年度見直しを行いながら策定します。



## 第2章 計画策定の背景

### 少子高齢化・人口減少の一層の進行と 地方創生の推進



わが国では、少子化が一段と進行するとともに、高齢化率が世界一の水準で推移し、人口減少が深刻化しています。

宇美町においても、急速な高齢化への対応と出生率の向上、人口減少の抑制が課題であり、子育て支援や移住・定住の促進等の地方創生の推進により人口減少を抑制することが求められています。

### 地域コミュニティの重要性の高まり



人口減少や家族形態の変化等を背景に地域における人と人とのつながりが希薄化しています。地域における生活課題が多様化する中、宇美町においても地域でお互いに支え合い、地域の課題を自ら解決していくことやまちづくりへの住民の主体的な参加の重要性が高まっています。

### 安全・安心に対する 関心の高まり



地震や大雨等による大規模な自然災害、新型コロナウイルス感染症の流行、特殊詐欺等による被害の増加、痛ましい交通事故の発生等を背景に、人々の安全・安心に対する関心が高まっています。

宇美町においても、地域や関係機関と連携して、防災や防犯、交通安全等に対する安全な環境を整備し、安心して暮らせるまちづくりが求められています。

# 宇美町を

# 社会

### 環境問題の深刻化



地球温暖化が進行し、世界的に異常気象や生態系の崩壊等を引き起こしています。世界各国は、気候変動対策のため温室効果ガスの排出量と除去量の均衡を図るための取組をすすめており、日本においても、国、地方自治体、企業そして国民一人ひとりが、脱炭素社会の実現に向けた取組を実践することが求められています。

宇美町を取り巻く社会情勢をまとめています。

第7次宇美町総合計画では、これらの社会情勢を踏まえ、これからのまちづくりを進めます。

### 地方の産業・経済の低迷



後継者不足や国内市場の縮小、新型コロナウイルス感染症の流行等により、地方の産業・経済は非常に厳しい状況にあります。

宇美町においても、地元事業者の事業継続や創業支援、地域経済の活性化が求められています。

### 情報化・デジタル化の進展



モバイル端末が普及し、SNS\*やネット通販、キャッシュレス決済\*等が生活に欠かせないものとなり、また、各分野でIoT\*、ビッグデータ\*、AI\*等が活用され、社会の情報化・デジタル化が進展しています。

宇美町においても、デジタル技術を活用した行政サービスの向上や地域社会のデジタル化が求められています。

### SDGsに基づく取組の進展



平成 27 (2015) 年の国連サミットで SDGs が採択され、日本を含め世界各国で「貧困をなくそう」・「飢餓をゼロに」・「すべての人に健康と福祉を」をはじめとする 17 の共通目標の達成に向けた取組が進められています。

宇美町においても、経済、社会、環境が連動した「持続可能なまちづくり」への取組を進めています。

# 取り巻く

# 情勢

### 地方分権と地方創生の推進



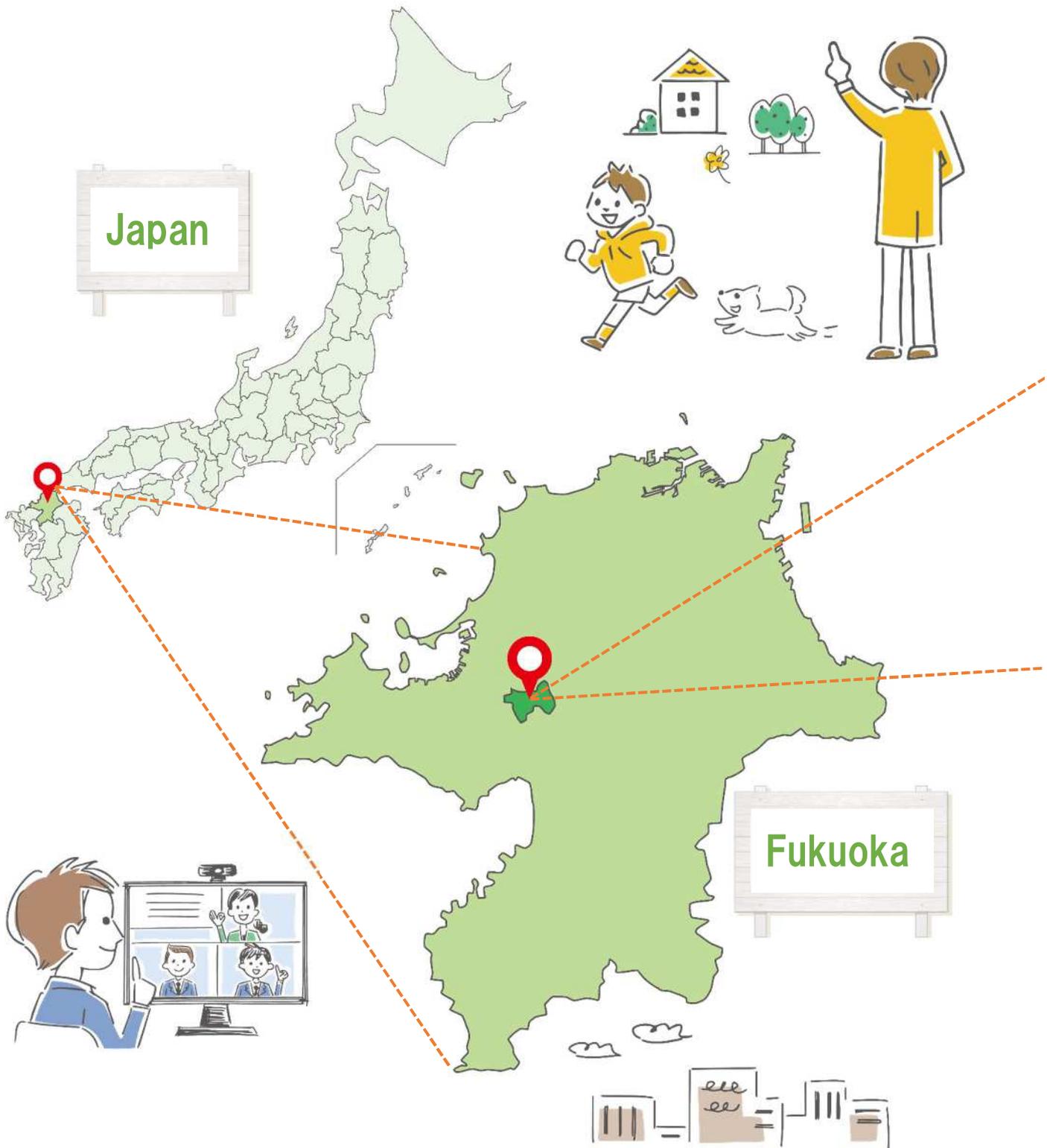
多様化した地域課題に対応するため、住民に身近な地方行政がその自主性を発揮し、より特色ある施策を展開する地方分権の取組が進められています。

また、少子高齢化に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある地域社会を実現するための地方創生の取組が、ますます重要になっています。

# 宇美町の 特性

宇美町らしい良いところを町の特性としてまとめています。

第7次宇美町総合計画では、これらの町の強みを活かし、より一層、魅力と活力あるまちづくりにつなげます。



### 福岡市や空港に近い 恵まれた立地

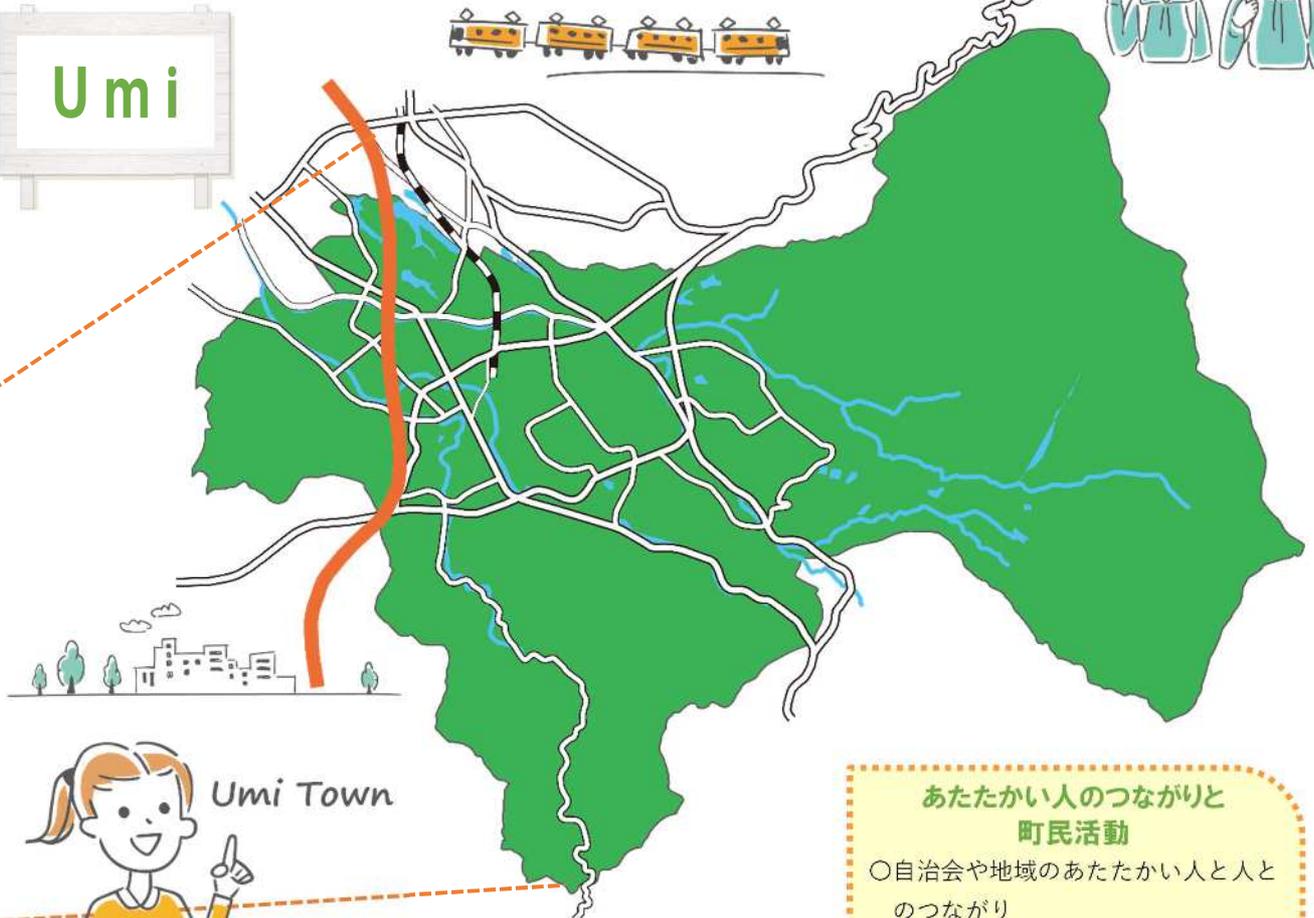
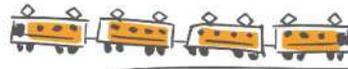
- 福岡市中心部から約 15 km
- 福岡空港から車で約 15 分
- J R 博多駅から JR 宇美駅まで約 30 分

### 豊かな自然

- 三郡山系の緑豊かな山なみ
- ホテルの住む河川
- 森と川に親しむキャンプ地 一本松公園
- 厳冬期の絶景 河原谷の大つらら
- 岩盤地下水「河原のしずく」



Umi



Umi Town



### あたたかい人のつながりと 町民活動

- 自治会や地域のあたたかい人と人とのつながり
- 小学校区を単位としたコミュニティ活動
- 子育て支援、読み聞かせ等、活発なボランティア活動
- 町民と行政とが共にまちづくりに取り組む共働事業

### 子育て・教育

- 乳幼児親子が集い、自由に遊んだり交流ができる子育て支援センター「ゆうゆう」
- 中学生と乳幼児が触れ合う「子育てサロン」
- 読書活動や地域交流等、豊かな価値観を育む学校教育
- 学校と地域・保護者が力を合わせて取り組むコミュニティ・スクール

### 医療・保健・福祉

- 総合病院、医療施設が多く立地（病院 3、診療所 17、歯科 16）
- 周辺都市の医療施設にも近く恵まれた医療環境
- めざせ高血圧ゼロのまち
- 小学生からの健康づくり うみっ子健診
- 地域で取り組む 介護予防教室

### 国指定史跡や日本遺産等、 貴重な歴史文化財

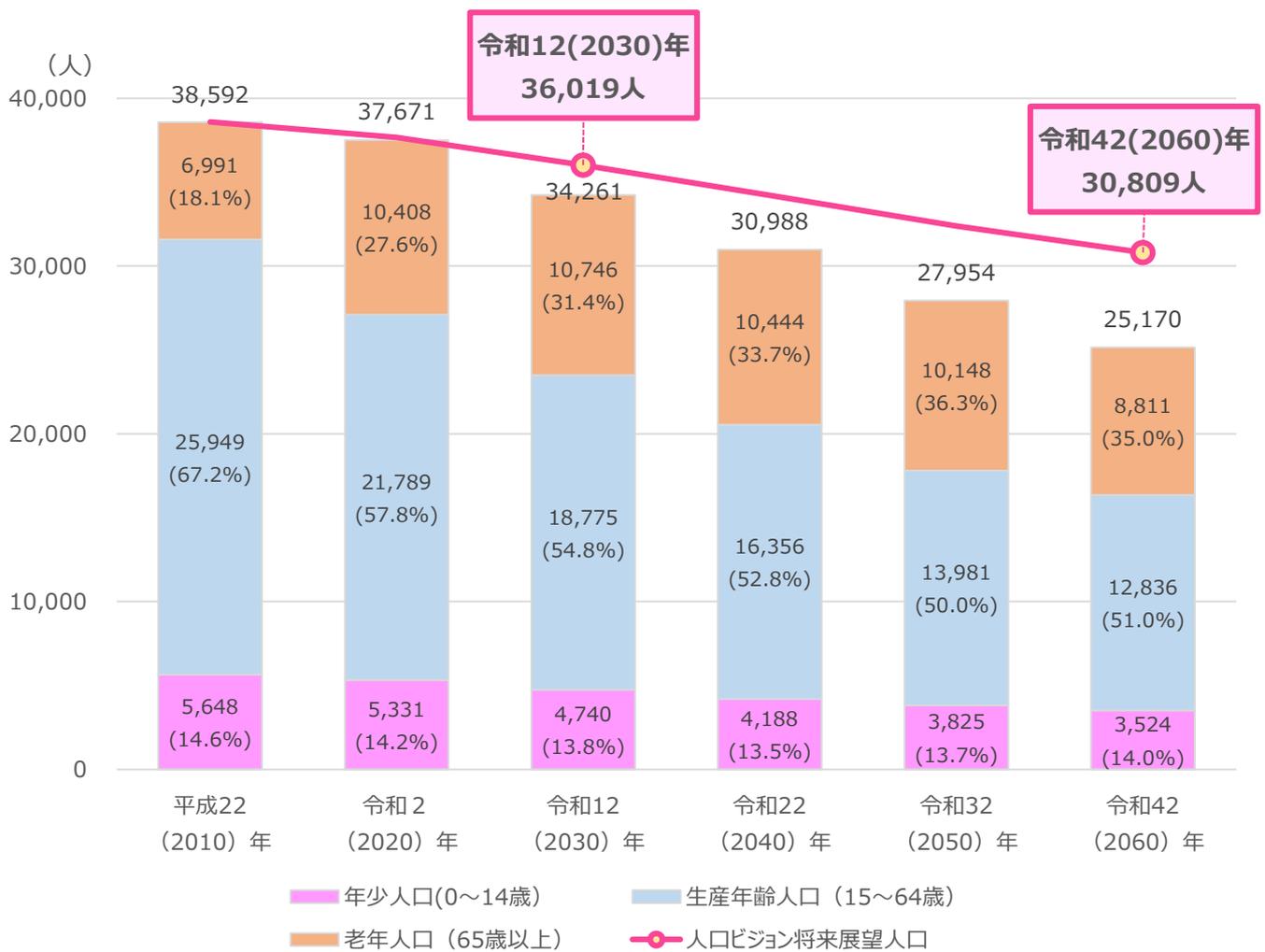
- 日本遺産 古代日本の「西の都」
- 日本最古の山城 大野城跡
- 郡内最古の前方後円墳 光正寺古墳
- 安産・育児の神様 宇美八幡宮
- 樹齢 2 千年以上の大樟 湯蓋の森・衣掛の森（宇美八幡宮）

# 宇美町の現状

## (1) まちの将来人口

宇美町においては、昭和 50 (1975) 年代から 60 (1985) 年代にかけて大型団地が造成され、福岡都市圏近郊におけるベッドタウンとして人口の増加が続いていました。その後、全国的に人口が減少傾向となり、宇美町においても平成 17 (2005) 年をピークに人口が減少し、現在、糟屋郡の中で最も高齢化が進んでいます。今後は、さらに急速な高齢化と生産年齢人口の減少が予想されています。

平成 27 (2015) 年度から取り組んでいる『宇美町総合戦略』の活力あるまちづくりをさらに進めることで、将来にわたって住んでよかったと実感できる、住み続けたいと思えるまちを実現する必要があります。

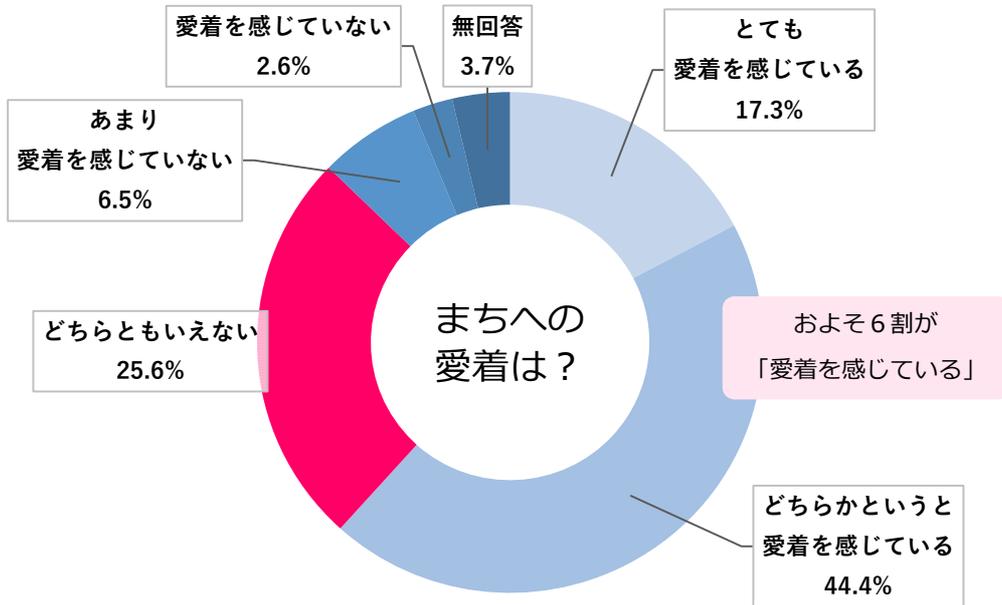


上の図は、宇美町の将来人口を予測したグラフです。棒グラフは、過去のデータを基に推計された人口を示しています。また、折れ線グラフは、宇美町が活力あるまちづくりの取組を進めることで、人口減少を抑制しようとする目標としている人口です。

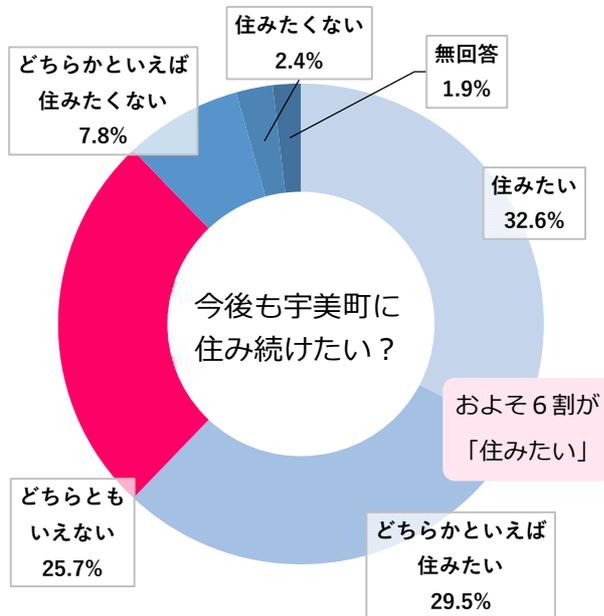
## (2) 町民アンケート

令和3年（2021）度を実施した町民意識調査の結果です。

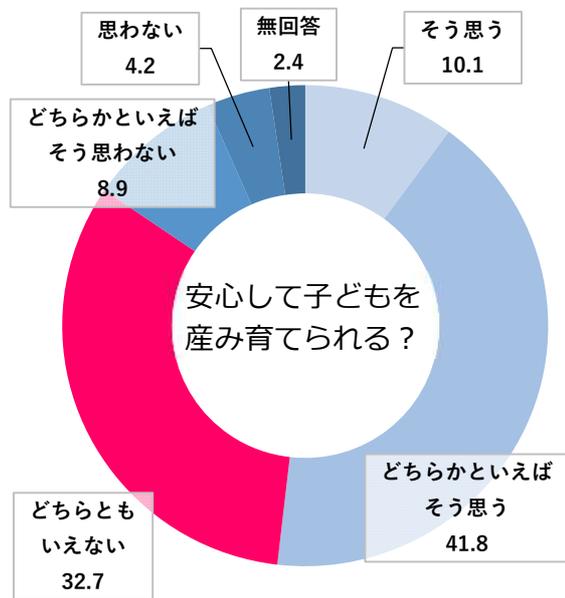
町民の実感を踏まえ、まちへの愛着や定住意向を高めるまちづくりを進めます。



「宇美町のよさ」を実感できるまちづくりを進め、「どちらともいえない」と答えた方の愛着度を上げることが大切です。



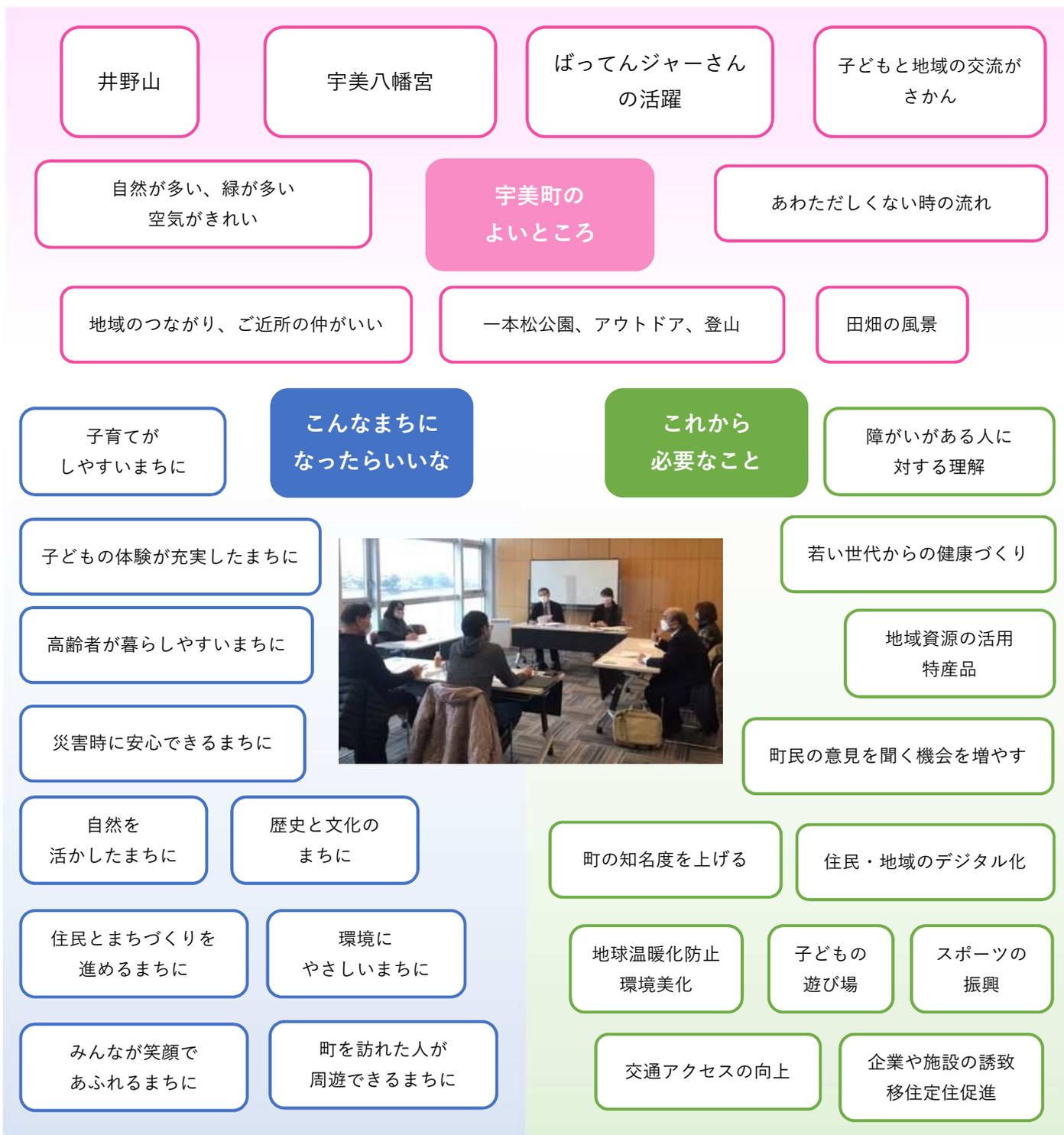
「どちらともいえない」を「住みたい」に変えるには、「このまちが、いい。」と選ばれる「まちの魅力向上」が大切です。



「どちらともいえない」を「そう思う」に変えるには、子育て世代が子育てしやすい環境を整える必要があります。また、子育て世代だけでなく、町全体で、子育てしやすいまちづくりを進める必要があります。

### (3) うみまちトークカフェ

#### 町民の想いや意見



第7次総合計画の策定にあたり、公募に応募された方、宇美商業高等学校の生徒、小学校区コミュニティ運営協議会や自治会、各種団体で活動されている方、宇美町で事業を行っている方に「うみまちトークカフェ」と題してまちづくりへの想いや意見を伺いました。宇美町をさらに良くしたいという町民の方々の声をこれからのまちづくりに活かします。

## 第2部 基本構想

# 宇美町の将来像

## 「このまちが、いい。」

将来像は、本町が8年後（令和12（2030）年度）に目指す姿を

『宇美町に移り住んだ人』  
『これから宇美町に移り住む人』

すべての人が “このまちが、いい。” と思える  
ようなまちを作ります。

これからの8年間でうみだされる価値が

“わたしたちの誇り” のひとつとなり、

その先の将来も

小さな子どもたちから、おじいさんおばあさんたちまで  
すべての町民が

“このまちが、いい。”

と思える

ちよつとワクワクする宇美町を目指します。

# わたしたちの誇り 宇美

示すものであり、これからのまちづくりの象徴となるものです。

“このまちが、いい。”

「宇美町で、いい。」でなく、「宇美町が、いい。」と選ばれる町へ」

宇美町の

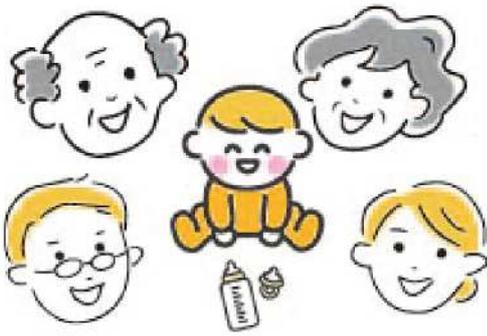
先人たちが守り育んできた豊かな自然、古（いにしえ）から引き継がれる多くの歴史・文化、あたたかい「人と人とのつながり」それは、町のすばらしい宝です。

その町の宝を活かしながら、町民、行政、まちに関わるすべての人が共に新たな宇美町の価値をうみだします。

そして

『宇美町に生まれ育った人』、

# 町の将来像の実現に向けて、計画の柱と



## 基本目標 1

みんなで「子どもの育ち」  
を応援し生涯にわたって  
「学び」を楽しむ『笑顔』  
をうみだすまち

## 基本目標 2

支えあい「いきいき」と  
暮らし続ける『元気』を  
うみだすまち



## 町の将来像

# 「このまちが わたしたちの

## 基本目標 3

災害に強く誰もが「安全」  
に暮らせる『安心』をう  
みだすまち



# よる6つの基本目標を次のとおり定めます。

## 基本目標 6

町民と行政がパートナー  
となり共働で『まちの魅力』  
をうみだすまち



## 基本目標 5

地域の特性を活かした  
『活気ある産業と交流』を  
うみだすまち



## 基本目標 4

豊かな自然環境と調和した  
『心地よい暮らし』を  
うみだすまち



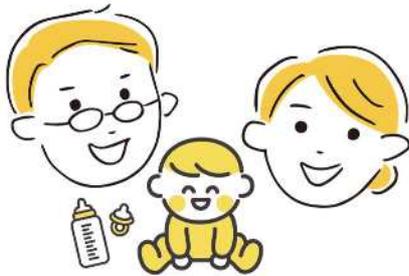
ズ、いい。」  
誇り 宇美

# 宇美町の目指す姿

## 基本目標 1

みんなで「子どもの育ち」を応援し

生涯にわたって「学び」を楽しむ『笑顔』をうみだすまち



“子どもは、宇美町の宝”です。

子どもを安心して産み育てることができるよう町全体で子育てを応援し、子どもの育ちに関わる人のすべてが、笑顔で子育てできる“子育てのまちなみ”を目指します。

また、子どもたちが楽しいと思える学びの場を作るとともに、すべての人が生涯にわたって学び続けることができる環境をつくり、町民主体のスポーツ活動、芸術・文化活動の推進により、学びの成果をみんなで楽しみ、活かし、人生が輝くまちを目指します。

## 基本目標 2

支えあい「いきいき」と暮らし続ける『元気』をうみだすまち



町民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療・保健・福祉サービスの充実を図りながら、町民が自ら生活習慣の改善に取り組む健康づくりのまちを目指します。

また、宇美町の特徴である地域と連携した地域福祉活動を更に充実させ、笑顔で、元気に住みなれた地域でいきいきと暮らせるまちを目指します。

## 基本目標 3

災害に強く誰もが「安全」に暮らせる『安心』をうみだすまち



大雨、地震をはじめとした災害は、宇美町でもいつ起こるかわかりません。

災害が発生しても、被害を最小限に抑えるために、防災・減災体制の一層の強化を図り、町民が安全で安心に住み続けることができるまちを目指します。

また、地域の結びつきが強い宇美町の特徴を活かし、町と地域が連携した地域ぐるみでの防災対策、防犯対策、交通安全を推進し、誰もが安心して暮らせるまちを目指します。

## 基本目標 4

### 豊かな自然環境と調和した『心地よい暮らし』をうみだすまち

宇美町の豊かな自然環境と福岡都市圏に属する恵まれた立地を活かしつつ、快適な都市空間を実現するために、計画的な道路・上下水道の整備の推進と土地利用の検討等を通じて、自然と快適さが調和したまちを目指します。

また、公共交通の利便性の向上を図り、子どもからおじいさん、おばあさんまで誰もが快適に暮らせるまちを目指します。



## 基本目標 5

### 地域の特性を活かした『活気ある産業と交流』をうみだすまち

福岡都市圏に属する恵まれた立地条件を活かし、商工業・農業の振興を図るとともに、新たな企業の誘致、各種地域資源の活用、特産品の開発等、町内経済の活性化を図り、活気あるまちを目指します。

また、近隣市町と連携し、日本遺産「古代日本の『西の都』」をはじめとした貴重な歴史文化資源を活かし、交流で繋がるまちを目指します。



## 基本目標 6

### 町民と行政がパートナーとなり共働で『まちの魅力』をうみだすまち

町民の誰もがお互いを尊重しあい、それぞれの能力や個性・特性を社会でいきいきと発揮でき、町民の一人ひとりが誇りを持てるまちを目指します。

地域活動や町民活動が活発な町の特性を活かし、町民と行政それぞれが知識・経験を活かしながら、お互いをパートナーとして認め合い、共働で魅力ある宇美町を目指します。

また、多様化する行政ニーズに対応できる自立した持続可能な行政経営を行い、町民から信頼されるまちを目指します。

